

266億円を探る予算決算常任委員会

インタビュー

みなさまに伺いました。

子どもたちの食育の充実を！



齊藤 蘭子さん

我が家は農家で4世代8人家族です。子どももいる私にとって、お米を作る過程や畑に実る野菜と一緒に収穫して食べられる、恵まれた環境にあると思っと思っています。

「子どもの頃に刷り込まれた食は変わらない」と聞いたことがあります。子供の頃にしっかりと「食育」し、基礎を培えば大人になっても自然と子どもの頃に覚えた味覚や栄養バランスで生涯、健康な生活を送れるのではないかと思います。年々増え続けている生活習慣病も、小さい頃からの「食育」で少しでも防げたらと思います。

若者の不安解消を！



太田 菜穂子さん

震災以降、若者の県外流出が問題視されています。就職難だけでなく、地域社会の気薄化が叫ばれている現代で、地域に残っても安心して暮らしている雇用機会の創出や地域の方々とふれあえる施策など、若者の不安材料を取り除けるような施策が求められていると思います。

特に滝沢は児童数も多く、今後の活動が未来の若者の希望となり、全国に発信できる指標にもなると思います。

住民への周知をもっと！



室小路 苗代沢 幸太さん

来年から市制移行ということは知っていましたが、どのようなことを行なっているのかは、全く分からないという状況でした。村の担当者とお話をする機会があり、たくさんの方々の活動に取り組んでいることが分かりました。せっかくの取り組みも住民がほとんど認知していないという現状は大変残念に思います。

広報だけではなく、いろいろな媒体を活用したりPRの場を設けて住民が丸ごと活用したりしさを創り出す事が出来ればと思います。

環境を考え、健康を実感できる食育を推進します

主な事業

(千円以下切り捨て)

●環境と調和した食料生産

- いわて未来農業確立総合支援補助事業 129万円
各種農業機械・施設等の整備を行い、農業者の経営安定化・規模拡大・系統出荷強化に伴う農業生産安定化をめざすことを目的として実施しました。事業によりパイプハウスや農産物加工用施設を導入したことにより、産直施設への出荷強化が図られました。
- 担い手育成経営基盤強化支援事業 436万円
経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者を育成し、農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立することを目的として、相談対応等を行いました。
- 環境保全対策事業 403万円
村内の河川水質調査、主要一般道・高速道路・新幹線の騒音調査を毎年継続することにより、汚染・騒音状況を把握することができました。

●健全な食生活の推進

- 食育推進事業 85万円
住民が食に関心を持ち、生涯を通じて心身ともに健康でいきいき暮らしていくことをめざして協働することによって、食育を推進しました。

●食の安全に向けた住民理解

- 学校給食事業 3億3918万円
栄養バランスの取れた給食の提供と食への関心や食べることへの意欲を持たせること等を目的とし、児童・生徒が考えた「希望献立」を実施しました。また、健康な生活を送る基礎を培うための正しい食習慣の理解を目的とした「食の指導」の実施により、児童・生徒の心身の健全な発達と食生活の改善、食育の推進が図られました。

●楽しい食卓と食文化の伝承

- 総合的な学習の時間推進事業 53万円
地域の人材を活用することにより「総合的な学習の時間」において「生きる力」の育成に必要な問題解決的な学習が円滑に実施されました。また、米作り、そば栽培、さんさ踊り学習会などの豊かな体験活動が行われました。